

報道関係各位

次世代を担うアーティスト・デザイナーを発掘・応援する、東京ミッドタウンの取り組みをお届けします！

## Tokyo Midtown Award 2011

ニュースレター 第 1 号

～6/1(水)より、<アートコンペ>の作品募集を開始しました～

東京ミッドタウンは、コンセプトである「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す一環として、「Tokyo Midtown Award 2011」を開催しています。今年で 4 回目となる本アワードは、引き続きアートコンペ、デザインコンペの 2 部門で実施します。

昨年のアートコンペには、国内外から総計 357 点の応募があり、様々なジャンルのユニークな作品から、4 点の入選作品を選出しました。今年は「都市」をテーマとした作品を募集し、入賞作品は、多くの人が行きかう東京ミッドタウン内プラザ B1F のパブリックスペースに展示します。伝統と最先端が共存し、融合している東京の魅力的な文化を背景に、次世代を担う若いアーティストとの出会いと応援を目的にしています。

### 1. 「Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペ」 6/1(水)～募集開始

6 月 1 日(水)から Tokyo Midtown Award 2011 アートコンペの募集が開始されました。テーマは「都市」。

多くの人々が様々な目的で行き交う東京ミッドタウン内プラザ B1F メトロアベニューを舞台に、東京ミッドタウンにふさわしい「都市のアート」を募集しています(応募締切:6 月 21 日(火)必着)。

### 2. 「Tokyo Midtown Award 2011 デザインコンペ」 7/5(火)～募集開始

7 月 5 日(火)からは、デザインコンペの募集が開始されます。2012 年春に東京ミッドタウンが開業 5 周年を迎えることから、都心の上質な日常を彩る「5」がテーマ。

是非、奮ってご応募ください(応募締切:8 月 5 日(金)必着)。詳しくは、5 ページにてご案内します。

### 3. アートコンペ 審査員より



児島 やよい(フリーランス・キュレーター / ライター / 慶應義塾大学、明治学院大学  
非常勤講師)

多くの人が行き交う、予測不能な出会いのある場所で作品を展示するチャンスを探るのが、このアワードの特徴です。美術館やギャラリーとは違う環境で、社会の中で自分が創作を行い展示するとはどういうことなのか、見つめ直すきっかけにもなるでしょう。今回から一歩踏み込んで、より多様な、よりチャレンジングな作品を提案できる場となります。思い切り自分の力を出して、今までに見たことのない作品を、見せてください。期待しています。



**清水 敏男(東京ミッドタウン・アートワークディレクター / 学習院女子大学教授)**

今年からアワードの内容が変わり、作品の設置場所が「ガラスケース」から「ストリート(=街)」になります。東京ミッドタウンの空間のなかに作品が入り込む事で、作品の表現はより自由になり可能性が広がることでしょう。ただし、街のなかでいかに作品を成立させるか、そして存在を目立たせるか、ますますアピール力が要求されることは確かです。街の空間、エネルギーを作品に反映させることも重要です。新しい発想にあふれた作品の提案を待っています。



**土屋 公雄(彫刻家 / 愛知県立芸術大学教授 / 武蔵野美術大学客員教授)**

都市の魅力ある環境を創造する上で、無機的になりがちな都市空間にアートという手法でリズムを与え、都市の内部を刺激的で個性ある空間に変貌させることはこのアワードの主旨の一つでもある。さらに都市という公的場所に、アートという究極の私的表現を持ち込むことは、一見相互矛盾のように思えるが、実はそこで起きる化学変化にこそ、パブリック・アートの魅力とダイナミズムがあるのだ。場所性を捉えた、心に豊かさをあたえる表現を期待する。



**中山 ダイスケ(アーティスト / 東北芸術工科大学情報デザイン学科教授)**

東京ではアートやデザインと接する機会が日々増えていますが、簡単に流行のサイクルに乗ってしまうと、すぐに中身は問われなくなってしまいます。東京＝日本の良いところと悪いところはいつも表裏に存在しますが、アートから感じ取るという行為は、もっと人間的であるべきだと思っています。良質なコンペを通じ、じっくりと時間をかけて育てることができれば、流行とは無関係に、アートがこの街の言葉となって息づいてくれることでしょう。



**八谷 和彦(メディア・アーティスト / 東京藝術大学准教授)**

まず昨年までの話。審査していて「この作品、いいんだけど前面にガラスがあるからな～」とか「ガラスケースで見るとは、繊細すぎて魅力が伝わらないのでは？」と判断されて、上位にいけない作品がいくつかありました。そういう見せる場所の条件を勘案して審査するのも私たちの仕事なのですが、今年から場所とテーマが変わることになりました。今までと条件がずいぶんかわります。そしてたぶんこれは、一部の作家の方によっては大きなチャンス到来です。ぴんと来た方のご応募、お待ちしております。

#### **4. Tokyo Midtown Award アートコンペ 過去受賞者インタビュー**

若い才能の発掘と応援を目的にしている Tokyo Midtown Award では、過去 3 回の開催で、数多くの才能が羽ばたいていきました。今回は Tokyo Midtown Award 2008 アートコンペで準グランプリを受賞した榎本 佳子(ますもと けいこ)さんと、Tokyo Midtown Award 2009 アートコンペで佳作及び東京ミッドタウン・オーディエンス賞を受賞した山本 麻璃絵(やまもと まりえ)さんに、本アワードの魅力や近況を伺いました。

**【榎本 佳子(ますもと けいこ)さん】**

- **Tokyo Midtown Award アートコンペの魅力をごどのようにお考えですか？他のコンペと異なる点は何でしょうか？**

美術館等での展示と違い、通路に展示するので、美術の好きな人以外にも作品をアピールできる事が魅力であり、他のコンペとは異なる点だと思います。

- 受賞されて、創作活動に変化はありましたか？

作品そのものだけでなく、インスタレーションという事に、より注意を向けるようになりました。

- 今後 Tokyo Midtown Award アートコンペへ挑戦するアーティストへのアドバイスは？

テーマと自作品との関わりを効果的に打ち出す事が大事かと思えます。



Tokyo Midtown Award 2008 アートコンペ  
準グランプリ 受賞作品  
「pottery」

### 榎本 佳子(ますもと けいこ)さんプロフィール

1982年 兵庫県生まれ

2005年 京都市立芸術大学卒業

2007年 京都市立芸術大学大学院修士課程陶磁器専攻修了

#### <主な展覧会歴>

2008年 個展 石田大成社ホール(京都)

「Tokyo Midtown Award 2008」(東京ミッドタウン)

2009年 「現代工芸への視点 装飾の力」(東京国立近代美術館工芸館)

2010年 個展 INAX ガレリアセラミカ(東京)

個展 小山登美夫ギャラリー京都(京都)

個展 Gallery Jin(東京)



#### <主な受賞歴>

2008年「Tokyo Midtown Award 2008 アートコンペ」準グランプリ

2009年「トーキョーワンダーウォール」(東京都現代美術館)立体インスタレーション部門大賞

### 【山本 麻璃絵(やまもと まりえ)さん】

- Tokyo Midtown Award アートコンペの魅力をごどのようにお考えですか？他のコンペと異なる点は何でしょうか？

美術館に足を運ばないような人たちを、たくさん巻き込める事だと思います。展示期間も長いのでその後はじめて会う方なんかにも、「ミッドタウンの見ました」とよく言われます。

- 受賞されて、創作活動に変化はありましたか？

外での展示だけでなく、プレゼンテーションなんかはじめての経験だったので…本当に色々勉強になりました。外へのアプローチが、以前よりやりやすくなったような気がします。

- 今後 Tokyo Midtown Award アートコンペへ挑戦するアーティストへのアドバイスは？

ホワイトキューブとは違う、通路での展示はやはり独特です。場との相性が大きいと思います。自分はこの場は作品との相性いいなあ、となんとなく思ったのが応募のきっかけでした。



Tokyo Midtown Award 2009 アートコンペ  
佳作／東京ミッドタウン・オーディエンス賞  
受賞作品  
「自動販売機のある風景」

## 山本 麻璃絵(やまもと まりえ)さん プロフィール

1988年 東京生まれ  
2010年 武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業  
武蔵野美術大学大学院美術専攻彫刻コース入学



### <主な展覧会歴>

2008年 「小平アートサイト 08」(武蔵野美術大学彫刻学科有志学内展  
／小平中央公園野外展)  
「DISCOVERY209」(KEY Gallery&青樺画廊)  
2009年 「第20回金沢現代彫刻展」(金沢駅もてなしドーム)  
「Tokyo Midtown Award 2009」(東京ミッドタウン)  
2010年 「群馬青年ビエンナーレ 2010」(群馬県立近代美術館)  
「アートプログラム 青梅 リフレクションー余白との対峙」(青梅市内)  
「COLORS」(代官山ヒルサイドフォーラム)  
「松戸アートラインプロジェクト 2010」(松戸市内)  
2011年 「理研展示プロジェクト」(理化学研究所)  
「第14回岡本太郎現代芸術賞」(川崎市岡本太郎美術館)  
「フラット展」(代官山ヒルサイドテラス)

### <主な受賞歴>

2009年 「Tokyo Midtown Award 2009 アートコンペ」佳作／東京ミッドタウン・オーディエンス賞  
2010年 「群馬青年ビエンナーレ 2010」入選  
「COLORS 展」金賞  
2011年 「第14回岡本太郎現代芸術賞」特別賞

Tokyo Midtown Award アートコンペの受賞後も、数々の受賞や展覧会開催等、ますますの活躍が期待される榎本さんと山本さん。今後の創作活動に目が離せません。

東京ミッドタウンでは、今後も Tokyo Midtown Award を通して、明日を担うアーティストを応援していきます。

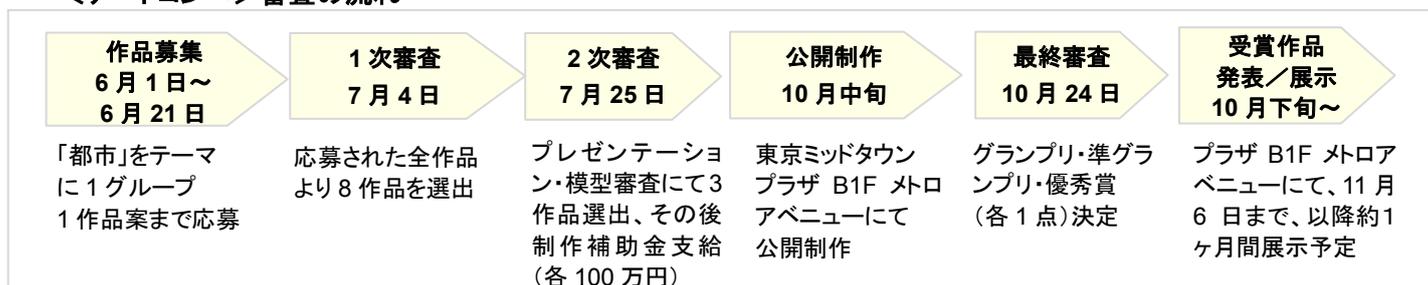
## 5. アートコンペ 公開2次審査会:7月25日(月)

アートコンペでは、6月21日(火)に応募を締め切った後、1次審査によって8作品を選出します。その後、7月25日(月)の一般の方々にも公開される2次審査会にて、応募者によるプレゼンテーション及び模型審査を行い、最終審査に進む3作品を決定します。

この2次審査には、アートコンペ審査員5名全員が参加。“落とす”審査ではなく、よりよい作品への“ヒントを与える”審査であり、Tokyo Midtown Award が“育成型コンペ”たる所以とも言える審査会です。

7月1日(金)より<[www.tokyo-midtown.com/jp/award/](http://www.tokyo-midtown.com/jp/award/)>にて、一般の方に向けて、公開2次審査会参加受付を開始します(抽選で50名様ご招待)。メディアの皆様にも昨年に引き続き公開予定です。

### <アートコンペ>審査の流れ



## 6. デザインコンペ 今後のスケジュール

デザインコンペは、2012年春に東京ミッドタウンが開業5周年を迎えることから、都心の上質な日常を彩る「5」をテーマに、7月5日(火)から募集を開始します(応募締切:8月5日(金)必着)。応募作品は8月22日(月)に行われる書類審査を経て、10月下旬に受賞作品8点が決定します。書類審査もメディア公開予定です。

東京ミッドタウンでは、デザインコンペの入賞作品の商品化を積極的にサポートしており、これまでに5作品が商品化、うち4作品は全国各地のセレクトショップなどで販売され、話題を呼んでいます。今年もデザインコンペから、どのような人気商品が生まれるかご期待ください。

### <デザインコンペ>審査の流れ

